



オアシス

文責：副学長
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2019年3月4日発行 第11号

新年を迎えると、1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」とよく言われますが、そのことわざ通り気がつけば早や3月を迎え、春の訪れを感じる季節となりました。

本アカデミー音楽院も年度末を迎え、各講座も第14回ファミリーコンサートに向けて、1年間の集大成にすべく、気持ちも高ぶっているところです。当日(4月21日・日曜)は、ご家族やお知り合いをお誘いのうえ、大社文化プレイスうらら館へ是非お越しいただき、各講座の学びの成果をご堪能いただけたら喜びます。

◎ ♪春まちコンサート♪を根付かせるために！

毎年行っている、アウトリーチ(地域への出前演奏活動)事業の集大成として、今回初めて、各アンサンブルメンバーが集まり、ミニ・オーケストラを編成しての演奏会を開催しました。クラシック演奏会に限らず、0歳児から未就学児も鑑賞できる本格的なコンサートはなかなかありません。未就学児も入場できることは、子育て世代の若い方々にも足を運んでいただける機会となります。子どもたちには小さい頃から本物の演奏を聴かせることは感性を育てるのにとっても有意義であり、若い子育て世代の方々には、ゆっくりと演奏会に参加出来ることで、育児ストレスからの解放にもつながることと思われまます。

アンケートを拝見しても、「とても良かった」、「良かった」を合計すると94%にもなり、演奏会への関心や満足度の高さがうかがえました。具体的には“楽器や音楽を身近に感じた”、“曲の種類が豊富だった”、“クラシックが初めてでも分かりやすかった”などというご意見をいただきました。

今回、初の試みで開催した「春まちコンサート」は、来場していただいた方々からは、コンサートのクオリティの高さに驚かれ、演奏技術や丁寧な解説及び曲目選定にいたるまで評価していただいたことは、主催した側にとってとても励みになりました。

クラシック音楽を、この出雲に根付かせるには様々なアイデアを活かした取り組み(流行)と、音楽のもつ性質を落とさない努力(不易)が求められているような気がします。



◎ コンサートに行こう！

ホールに生の演奏を聴きに行くのと、CD等で楽しむのとは基本的に相容れないものと考えます。同じ音楽でも録音されたものは、たとえ技術が進化したとはいえ本物の「音」の再生は不可能です。（ホールに出向いても、マイクを通してしまえばそれも単なる機械というフィルターを通した音にすぎないこととなります…。）

クラシック音楽では、機器等を通さずホールの残響を最大限に活用して、自然な音色で響かせることを基本としています。ですから機械音に比べ、ごく自然な音の美しさに心が和み、精神衛生上にもとても良いことと理解しています。

もう一つ、クラシック音楽はなぜ数百年を過ぎてても人々に受け入れられるのか…？ それは、世紀を超えた人々に、曲のもつ魅力と完成度の高さが支持されているのではないかと考えています。現在の曲が決して低いとは言いませんが、何百年後にも演奏されているかと問われれば、疑問符がつくことが多いのかもしれません…。

出雲市には本格的な音楽ホールが無いのは誠に残念ですが、多目的ホールでも自然な響きはある程度堪能できます。生ならではの臨場感を味わうことはとても大切なことです。

そこで、3月は本アカデミーの関係者が出演するコンサートが2公演あります。普段、他の講座の様子はわからなくても、「出雲芸術アカデミー」で繋がっている仲間の様子は、演奏会に出向けば一目瞭然理解できることと思います。およそ1年間、この「オアシス」を通して、本アカデミーの各講座の様子をお伝えして来ました。出雲市民の皆様は私たちが取り組んでいる様子をさらにご理解いただくには、まずは音楽院に在籍している私たちが理解を深め、一丸となって発信していくことが重要と考えています。

さあ、お知り合いをお誘いのうえ、私たちのコンサートに出掛けましょう！



出雲の春音楽祭 2019 Vol. 1

出雲の春音楽祭2019 Vol.1 Ver'izumo劇場 伝説の響き
～(トリスタンとイゾルデ)を読んで～

IZUMOpera
愛の妙薬
ネモリーノの挑戦！
G.ドニゼッティ作曲 原語上演/日本語字幕

何にでも効く特効薬、いかがですか？

出演者：野津 良佑、野野 麻実、橋くるみ、森 健介、坂田 真一

2019.3.17 [日] 14:30開演 (13:45開場)
ビッグハート出雲 白のホール (S13席)

出雲の春音楽祭 2019 Vol. 2

出雲の春音楽祭2019 Vol.2 Ver'izumo劇場 — 伝説の響き
～世界初演プロジェクト第3弾～

iPhilo
Izumo Philharmonic Orchestra S
和魂洋彩のアンサンブル

長澤 新役：春の一日(全5楽章)ほか
作曲：モーツァルト
交響詩「ワルツァ(モルタウ)」
R.ワーグナー：楽劇(トリスタンとイゾルデ)から「愛の死」

早野 一輝：出雲編の神話(伝承)風土に根ざす管絃楽(及鼓楽)の為の連作
交響神樂 第四番(大穴年廻)ほか
新編 交響神樂 第五番(鳥近)ほか

2019.3.24 [日] 14:30開演 (14:00開場)
出雲市民会館 大ホール

【このたよりは、本アカデミーホームページでも掲載します <http://izumo-zaidan.jp/tag/academy/>】